

取扱説明書 詳細編

ワイヤレスプレゼンテーションシステム 業務用

品番 TY-WPS2 WPS 基本セット

> TY-WPSC2 WPS USB-C 基本セット WPS USB-C 送信機

TY-WPB2 WPS 送信機

TY-WPR2 WPS 受信機

TY-WPBC2

* WPS とは「Wireless Presentation System」の略称です。



System」の愛称です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- ●ご使用前に「安全上のご注意」(22 3~5ページ)を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●この取扱説明書は、TY-WPS2、TY-WPSC2、TY-WPB2、TY-WPBC2、TY-WPR2 共用です。

●製造番号は品質管理上重要なものです。

お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

日本語

DA0225HM1065 -PB

もくじ

安全上のご注意	3
はじめに	6
こんなことができます	6
使用上のお願い	6
本機の無線機能について	8
セキュリティーに関するお願い	9
本体・付属品の確認	10
各部の名称	11
WPS1 シリーズの機器との接続について	13
接続	14
受信機の接続	14
送信機の接続	15
基本的な使い方	16
シングル接続	16
マルチ接続	16
映像の切り換えを固定する(固定モード)	18
固定モードの設定	18
固定モードの解除	18
送信機の増設方法 (ペアリング)	19
受信機と送信機を接続してペアリングする…	19
無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機を	F
ペアリングする	20
LAN 接続について	21
Android 端末での使用方法(Android 5.0 以降)	22
Android 端末でアプリを使用し、受信機が	
発信する無線 LAN に接続して使用する	.22
Android 端末でアプリを使用し、外部の無	
線 LAN に接続して使用する	22
設定	.24
待機画面について	24
Web 設定画面を表示する	26
	29
初期設定」メニュー(ディスノレイ設定)	42
HDMI-CEC 機能を使つ	47
ファームワェアのアッフテート	50
受信機の設置方法	.53
受信機取付金具の構成部品	
	53
ベース金具の取り付け	.53 .53
ベース金具の取り付け 天井や壁面への取り付け	.53 .53 .53

本製品で対応する映像信号	55
修理を依頼される前に	56
保証とアフターサービス	57
仕様	58
ソフトウェアライセンス	60
商標について	60

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ず 警告 お守りいただくことを説明しています。 ■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害 異常・故障時は直ちに使用を中止してください の程度を区分して、説明しています。 **塗☆/** 「死亡や重傷を負うおそれ ■ □ がある内容」です。 異常があったときは電源プラグを抜いてください ●煙が出たり、異常な臭いや音がする ●映像や音声が出ないことがある 「軽傷を負うことや、財産 内部に水などの液体や異物が入った 汗意 の損害が発生するおそれが 本機に変形や破損した部分がある ある内容|です。 そのまま使用すると火災・感電の ■お守りいただく内容を次の図記号で説明して 原因になります。 います。(次は図記号の例です) 電源プラグをコンセントから抜 電源プラグ いて販売店に修理をご依頼くだ を抜く してはいけない内容です。 さい。 本機を電源から完全に遮断する には、電源プラグを抜く必要が 実行しなければならない内容です。 あります。 ●お客様による修理は危険ですか ら、おやめください。 電源プラグはすぐに抜けるよう に容易に手が届く位置のコンセ ントをご使用ください。

異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいもの などを差し込んだり、落とし込んだりしないで ください。



火災・感電の原因となります。 ●特にお子様にはご注意ください。

AC アダプターについて

AC アダプターや AC アダプターケーブルは本 機に付属のもの以外は使用しないでください

付属以外の AC アダプターや AC アダプ ターケーブルを使用すると、ショートや 発熱により、感電・火災の原因になるこ とがあります。

電源プラグにほこりがたまらないよう、 定期的に掃除をしてください

> 湿気などでショートし火災・感電の原因 となります。 ●電源プラグを抜き、乾いた布でふいて ください。

安全上のご注意 wftafbください 続き



本機からの電波が自動制御機器に 影響を及ぼすことがあり、誤動作による 事故の原因になります。

▲ 警告

設置工事や取り付けは、工事専門業者または 販売店にご依頼ください



工事や取り付けが不完全ですと、 落下事故の原因となります。 ●ご使用を終了した製品は、工事専門業 者にご依頼のうえ速やかに撤去してく ださい。 使用中は送信機の底面に触れないでください



使用中や使用後しばらくは、送信機の底 面が熱くなることがありますので、やけ どの原因になります。 また、熱に弱い物の上に置かないでくだ

さい。変形や変色の原因となります。



本機の通風孔をふさがないでください 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください

 \bigcirc

内部に熱がこもり、火災や故障の原因と なることがあります。

本機の上に重いものを載せないでください



火災や故障の原因となることがあります。

温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や 湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそば など)に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

接続ケーブルを取り外すときは、必ずコネクター 部を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、 感電・ショートによる火災の原因となる ことがあります。

移動させる場合は、機器の接続ケーブルを 外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の 原因となることがあります。 長期間ご使用にならないときは電源プラグを コンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・ 感電の原因となることがあります。

電源プラグ を抜く

接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたり しないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因と なることがあります。 ●特に、お子様にはご注意ください。

送信機に磁気カードや磁気ディスクなど 磁力により影響を受けるものを近づけないで ください



お手入れについて

お手入れの際は、安全のため電源プラグを コンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源プラグ を抜く

こんなことができます

ワイヤレスプレゼンテーションシステムは、映像出力機器に表示されている画面を離れた場所に設置したディスプレイやプロジェクターにミラーリング(投映)することができます。

スマートフォンやノートパソコンなどの小さな画面を大画面で表示できますので、大型ディスプレイを 使用して会議でプレゼンテーション資料を見せたいときや映像を大きなディスプレイで楽しみたいと き、ケーブルの配線が難しい場所にディスプレイを設置して映像を流したいときなどに便利です。

本システムは送信機と受信機で構成されており、映像出力機器の画像を送信機で無線 LAN(Wireless LAN)を使って受信機に送信します。

また、送信機を使わずにモバイル機器(Android 端末)から受信機に画像を送信することもできます。 次のような方法で映像出力機器の画像をディスプレイやプロジェクターなどに表示できます。

- ① 送信機を使って映像出力機器の映像を受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。
 ② 専用のアプリケーションを使ってモバイル機器(Android 端末)の映像を直接受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。
- ③ 専用のアプリケーションを使ってモバイル機器(Android 端末)の映像を外部の無線 LAN 経由で 受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。

(お知らせ)

• ご利用の環境により、アプリケーションや Web 設定の画面表示の内容が一部異なる場合があります。

使用上のお願い

■本機を運搬されるとき

運搬の際は、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。

内部の部品が痛み、故障の原因になります。

■本機を設置されるとき

屋外に設置しないでください。

電波関連の法律により、本機は屋内専用です。屋外での使用は禁止されています。

以下の場所に設置しないでください。

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所:内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- 海の近くや腐食性ガスが発生する場所:部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- 高圧電線や動力源の近く:妨害を受ける場合があります。
- 海抜 2 700 m 以上の場所に設置しないでください。

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

本機の使用環境温度は、海抜 1 400 m 未満で使用する場合は 0 ℃~ 35 ℃、海抜 1 400 m 以 上~ 2 700 m 未満で使用する場合は 0℃~ 30 ℃です。

本機の吸気口 / 排気口をふさいだり、吸排気を妨げたりするような状態で使用しないでください。 内部の部品が傷み、故障の原因になります。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますので ご注意ください。

送信機・受信機とも常時電源を入れた状態になることは避けてください。

電源を入れたままの場合、パフォーマンスが低下する場合があります。 パフォーマンスを維持するために以下を行うことを推奨します。

- •24時間ごとに受信機および送信機の電源を切り、再度電源を入れる。
- •「再起動指定」機能(☞ 32ページ)を使用する。

■有線 LAN について

静電気が起きやすい場所では、十分な遮へい対策を行ってから使用してください。

じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、有線 LAN での通信が切 れやすくなります。このような場合は、静電防止マットなどを使用して問題となる静電気やノイズ源 を本機やケーブルの近くから取り除いてください。

まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置してください。

■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

筐体の汚れは柔らかい布(綿・ネル地など)で軽くふく

●ひどい汚れや指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

●水滴が内部に入ると故障の原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

●ご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- ●筐体の破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させ ないでください。
- アルコールのご使用について
- ●容量濃度 60%以下のアルコール少量を柔らかい布にひたし拭き取った後、必ず乾いた布で拭いて ください。

固い布で拭いたり、強くこすったりすると傷がつく原因となりますのでご注意ください。また、 故障の原因となりますので水滴が内部に入らないようにし、アルコールは直接噴霧しないでくだ さい。

●アルコール以外の消毒液を使用しないでください。

■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせくださ い。

本機の無線機能について

本機の無線機能 は、2.4 GHz/5 GHz (W52)/ 6 GHz 帯域の電波を使用します。 下記の内容を十分理解してご使用ください。

ほかの無線機器の近くで使用しないでください。 この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産 業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等 で使用されている移動体識別用の構内無線局(免 許を要する無線局)および特定小電力無線局(免 許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別 用の構内無線局および特定小電力無線局なら びにアマチュア無線局が運用されていないこ とを確認してください。
- 2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線 局に対して有害な電波干渉の事例が発生した 場合には、速やかに使用周波数を変更するか または電波の発射を停止したうえ、パナソ ニック業務用ディスプレイサポートセンター にご連絡いただき、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など)につい てご相談してください。
- 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小 電力無線局あるいはアマチュア無線局に対し て有害な電波干渉の事例が発生した場合など 何かお困りのことが起きたときは、パナソ ニック業務用ディスプレイサポートセンター へお問い合わせください。

本機は、屋内で使用してください。

- ●本機は5GHz帯(W52)および6GHz帯 を使用する無線装置です。屋外で使用することは、電波法で禁止されています。
- 本機の近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオを できるだけ使用しないでください。
- ●携帯電話・テレビ・ラジオなどは、本機と違う 帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響あり ません。しかし、本機からの電波により、音声 や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通 信の電波を通しません。

木材やガラス(金属メッシュ入りガラスを除く)などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に 動作しない場合があります。

●近くに強い電波を発生する設備や機器がある 場合は、それらの機器から十分に離して設置 してください。

国外での取り扱いについて

- 本機は、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線LANを使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。
- インターネットへの接続について
- 本製品は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆LANを含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由してください。



この機器が、2.4 GHz 周波数帯(2400から 2483.5 GHz)を利用する直接拡散(DS)方 式 / 直交周波数分割変調(OF)の無線装置で、 干渉距離が約40mであることを意味します。

受信機のご使用について

- ●本機は、同一の部屋において、最大24台(すべての受信機が6GHzモード時)または4台(すべての受信機が5GHz帯)の受信機を設置できます。確実に動作させるためには、それぞれの受信機が出力する無線周波数が重複しないように設定してください。
- ●複数の部屋に受信機を設置する場合は、他の 部屋に設置した受信機から漏れる電波の状況 などによりますが、上記と同じく周波数が重 複しないように設定することで使用できます。 ただし、混信などが発生して正常に動作しな い場合は、各部屋の受信機同士の直線距離を 離すなどの処置を行ってください。

6 GHz モードの無線接続について

- ●ワイヤレスモードを6 GHz で使用する場合、 モバイル端末が6 GHz の無線接続に対応した 機器でないと接続ができません。
- 本機は PSC (Preferred Scanning Channel 「優先スキャンチャンネル」) 機能を搭載して います。この機能により、Wireless チャンネ ル設定を「Auto」にしている場合、デバイス が安定して接続できる可能性の高いチャンネ ルを選別し、それらのチャンネルが優先して 選択されます。
- Wireless チャンネルを固定で設定する場合、 モバイル端末によっては特定のチャンネルに 設定したときに、SSID が表示されない可能性 があります。

セキュリティーに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- ●本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- ●悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止
- ●パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- ●パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- ●パソコンや他の機器と同じパスワードを使用されないことを推奨します。
- ●パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニックコネクト株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会する ことはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ●ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- ●廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。 「リセットボタン」(☞ 11ページ)をご覧ください。

セキュリティー対策を十分に行ってください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

- ●無線LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線ア クセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能 であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべ ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生 する可能性があります。
 - 通信内容を盗み見られる
 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - 不正に侵入される
 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし) 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん) コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊) などの行為をされてしまう可能性があります。

●本来、無線LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリ ティーの仕組みを持っていますので、無線LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品 を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

●無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティー設定について、お客様ご自身で対処できない場合 には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

●セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断 と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

本体・付属品の確認

以下の本体・付属品が入っていることを確認してください。

WPS 基本セット TY-WPS2

• 本体 WPS 受信機 (TY-WPR2) 1	WPS 送信機 (TY-WPB2)2	
• 付属品 AC アダブター (DPVF4970ZA/X1)1 (変換プラグ3個を含む)	AC アダプターケーブル (DPVF4960ZA/X1)1	HDMI ケーブル (DPVF4971ZA/X1)1
USB 延長ケーブル (DPVF3513ZA/X1)2	受信機取付金具 (☞ 53 ページ)1	送信機ケース (DPVF5002ZA/X1)1
WPS USB-C 基本セット TY-W	/PSC2	
• 本体 WPS 受信機 (TY-WPR2)1	WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC2)2	
• 付属品		

AC アダプター (DPVF4970ZA/X1)1 (変換プラグ 3 個を含む)	AC アダプターケーブル (DPVF4960ZA/X1)1	HDMI ケーブル (DPVF4971ZA/X1)1
ペアリング用変換アダプター	受信機取付金具	送信機ケース
(DPVF3516ZA/X1)1	(☞ 53 ページ)1	(DPVF5002ZA/X1)1

WPS 送信機 TY-WPB2

• 本体	 付属品
WPS 送信機	USB 延長ケーブル
(TY-WPB2) 1	(DPVF3513ZA/X1)1

WPS USB-C 送信機 TY-WPBC2

• 本体	• 付属品
WPS USB-C 送信機	ペアリング用変換アダプター
(TY-WPBC2)1	(DPVF3516ZA/X1)1

WPS 受信機 TY-WPR2

本体

WPS 受信機 (TY-WPR2)1

付属品

AC アダプター	AC アダプターケーブル	HDMI ケーブル
(DPVF4970ZA/X1)1	(DPVF4960ZA/X1)1	(DPVF4971ZA/X1)1
(変換プラグ3 個を含む)		

受信機取付金具 (127 53ページ)......1

お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。 (上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

各部の名称

■受信機(TY-WPR2) 3 インジケーター を表示します。 Δ 2 3 ▼ 接続端子 / 操作部 ります。 ▼ 接続端子 / 操作部 電源入力端子 6 10 11 12 13 5 6 8 9 7 電源スイッチ '**...** \bigcirc \circ ñ 8 リセットボタン

アンテナ

- 2 FUNCTION ボタン / LED 機器の状態の表示や、遠隔ペアリング機 能のときに使用します。
- 電源の状態や LAN、USB の接続の状態
- 取付金具用ねじ穴(☞ 53ページ) 取付金具に取り付ける場合に使用します。
- 5 セキュリティースロット Noble Wedge スロットと互換性があ
- 受信機の電源を入(I)/切(O)します。
- 本機を工場出荷時の状態に戻します。 電源を供給した状態でリセットボタンを 5秒以上押すとリヤットを開始します。 約1分で初期化が完了します。
- 9 USB 端子 (Type-A) ペアリングするときに送信機を接続します。 HID 機器を接続して使用します。
- 10 LAN 端子(RJ45) ネットワークに接続して本機の設定を変 更します。
- 11 HDMI 出力端子 HDMI 入力がある映像機器を接続します。
- 12 音声出力端子 外部スピーカーなどを接続します。
- 13 無線帯域切り替えスイッチ (🖙 17ページ) 使用する帯域(5 GHz、6 GHz)に応 じて切り替えます。

※HID 機器

対応するマウスが動作します。HID 機器の USB ケーブルを接続した後に「Hid Driver loading...| と 表示されますが、この表示が消えてから利用できます。

■ USB-A 送信機(TY-WPB2)



- HDMI 入力端子 HDMI 出力がある映像機器に 接続します。
- 2 USB 端子 (Type-A) USB 給電機器に接続します。
- 3 **メインボタン / LED** 映像表示の ON/OFF を切り換えます。
- 4 サブボタン / LED マルチ画面モードに切り換えます。
- 5 モードスイッチ 現状はスイッチを切り替えても動作しま せん。 将来のソフトウェアのバージョンアップ で利用可能になる場合があります。
- 6 USB 端子 (Type-C) DisplayPort Alt Mode 出力対応の USB Type-C 端子がある映像機器に 接続します。

■ USB-C 送信機(TY-WPBC2)



■ 送信機ケース 送信機2台(最大4台)とUSB延長 ケーブル(TY-WPS2/TY-WPB2に付)

属)を収納できます。



WPS1 シリーズの機器との接続について

本機は WPS1 シリーズ(TY-WPB1、TY-WPBC1、TY-WPR1、TY-SB01WP)との互換性があ ります。

WPS2の送信機や受信機と組み合わせて使用できますが、一部ご使用頂けない条件があります。 詳しくは以下のお知らせをご参照ください。

- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、WPS2 受信機の周波数帯を5 GHz に設定して使用してください。WPS1 シリーズの機器は、6 GHz には対応していません。
- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、WPS2 送信機に入力される解像度の設定が 3840 x 2160 では使用できません。3840 x 2160 に設定すると映像が映らない、遅延が発生 するなどの症状が起きることがあります。
- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機を ペアリングする機能は非対応になります。
- WPS1 シリーズの機器と組み合わせて使用する場合、ルーターを使用しないマルチキャスト(ルー ターレスマルチキャスト)の機能は非対応になります。
- WPS1 シリーズの機器でのバージョンアップ方法で、WPS2 シリーズの機器をバージョンアップ することはできません。
- WPS2 シリーズの機器でのバージョンアップ方法で、WPS1 シリーズの機器をバージョンアップ することはできません

接続

接続の前に、本システムと接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。 各機器の電源を切ってからケーブルを接続してください。

受信機の接続

1 受信機に給電用の AC アダプターと AC アダプターケーブルを接続します。

コンセントの形状に適合した AC アダプター変換プラグをご使用ください。

<外し方> ①ボタンを押して

②外す



(お知らせ)

• コンセントに接続した状態で AC アダプター変換プラグを外さないでください。

2 ディスプレイやプロジェクターなどの表示機器と受信機をHDMIケーブルで接続します。



- 受信機への給電には付属品の AC アダプターまたは 5 V/2 A の USB 給電機器を使用してください。
- 3 受信機の電源スイッチを「I」側に倒して電源を入れます。表示機器に待機画面が表示されたら、受信機側の準備は完了です。



送信機の接続

1 送信機の USB 端子と HDMI 入力端子を映像出力機器に接続します。

• 送信機への給電には 5 V/0.9 A の電源が必要です。



USB-C 送信機の場合は USB 端子(Type-C)を映像出力機器に接続します。

(お知らせ)

- ・映像出力機器の USB Type-C 端子には次の機能が必要です。機器の仕様をご確認のうえご使用ください。
 - DisplayPort Alt Mode(映像出力機能)
 - 接続した機器への給電機能(5 V/0.9 A)
- 2 メイン LED は赤色点滅 (接続中)→白色点灯 (待機中)に変わります。





赤色点滅(接続中)

白色点灯(待機中)

送信機取り扱い時のお願い

パソコンに接続した送信機本体を外すときは、ケーブルコネクター部分を持って外してください。





本体を持ってケーブルを引っ張ると負荷がかかり、故障の原因となります。



基本的な使い方

シングル接続

1台の送信機を使用して映像表示する場合について説明します。

1 待機画面のときに、送信機のメインボタンを押す。

映像が表示されます。

□ ← □ · · · · · · · · · · · · · · · · ·	NUMBER NUMBR NUMBR NUMBR <th>1 m/m 5 m/m 5 m/m 5 m/m 5 m/m 3 m/m 4 m/m</th>	1 m/m 5 m/m 5 m/m 5 m/m 5 m/m 3 m/m 4 m/m
		Ħ

白色点灯(待機中)

緑色点灯 (表示中)

もう一度メインボタンを押すと メイン LED は白色に変わり、待機状態に戻ります。 (画面も待機画面に戻ります。)

• 複数の送信機を使用した場合は、メインボタンを押した送信機の映像に切り換わります。

マルチ接続

複数の送信機を使用して映像を同時に表示する場合について説明します。 最大で4台の送信機の映像を同時に表示することができます。

1 全画面表示のときに、送信機のサブボタンを1 秒以上押す。

サブ LED は緑色点灯に変わり、マルチ画面モードになります。

Þ



全画面表示





サブ LED 緑色点灯 (マルチ画面モード)

2 映像を追加する送信機のメインボタンを押す。

映像が追加されます。



(お知らせ)
 ・マルチ画面表示時に音声は出力されません。

▶ マルチ画面モードの解除

送信機のサブボタンを1秒以上押す。

- ・サブ LED は緑色点灯から消灯に変わり、マルチ画面モードは解除されます。
- メイン LED が緑色点灯のときのみマルチ画面モードは解除可能です。

本機が使用する周波数帯の特性と切り替えについて

- 本機には送信機と受信機をつなぐ周波数帯を切り替える機能があります。
 5 GHz 帯を使用するモード:5G モード
 6 GHz 帯を使用するモード:6G モード
- 切り替えは受信機の無線帯域切り替えスイッチ(☞ 11ページ)もしくは Web 設定ページから行えます。
- 6G モードであってもその他の周波数の電波が出力されている場合があります。

•5G/6Gモードの切り替えを行うと送信機とのペアリングが必要になります。

(お知らせ)

- モードの切り替えを行っても送信機とのペアリングを行わなければ、元のモードでのペアリング が保持されています。
- 6G モードでは映像 / 音声の乱れや途切れがなく使用できる範囲が 5G モードに比べて狭くなります。
- 特に 6G モードの使用時には、送信機と受信機の間に遮蔽物があると伝送能力が落ちることがあります。特に 6G モードを使用する場合は、受信機のアンテナが送信機から見えるように設置してください。

以下の場合は特に気を付けてください。

- ディスプレイの裏などに設置するとき
- 天井から吊り下げて設置したプロジェクターのそばに設置するとき
- ラックの中に設置するとき

映像の切り換えを固定する(固定モード)

複数の送信機をペアリングして使用している状態で、1 台の送信機の映像を表示しているときに、他の 送信機からの映像に切り換えられないように設定できます。 この設定により、映像切り換えの誤操作を防ぐことができます。

固定モードの設定

1台の送信機の映像を表示している状態で送信機のメインボタンを 1 秒以上押す。

メイン LED は緑色点灯→青色点灯に変わり、固定モードに入ります。







白色点灯(待機中)

固定モードの解除

送信機のメインボタンを1秒以上押す。

メイン LED は青色点灯→緑色点灯に変わり、固定モードは解除されます。



青色点灯(固定モード)



緑色点灯(固定モード解除)





U //

青色点灯(固定モード)

赤色点灯(操作不可)

送信機の増設方法(ペアリング)

TY-WPS2 基本セット /TY-WPSC2 基本セットはそれぞれペアリング設定済みです。

受信機と送信機を接続してペアリングする

1 モードスイッチを「1」側にする。



2 送信機の USB 端子を受信機 / 受信ボードの USB 端子に接続する。



しばらく待つと受信機の LED が白色に点滅し、自動的にペアリングが開始されます。 待機画面に「Pairing...」(ペアリング中)と表示されます。

3ペアリング完了

「Pairing OK」と表示され、受信機の LED が白色に点灯します。



4 送信機の USB ケーブルを受信機から外す。

無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機をペアリングする

1 受信機の FUNCTION ボタン を5秒以上押す。

FUNCTION ボタンの LED が 白色に点灯します。



Web 設定画面から、「ペアリング設定」を 押す。

「ペアリング設定」の案内画面が表示されます。 画面の指示従っても遠隔ペアリングができます。 FUNCTION ボタンの LED が白色に点灯します。



2 ペアリングしたい送信機をパソコンと接続し、15 秒~20 秒ほど待ってから、 サブボタンを5回連続で押す。

メインボタンの LED が黄色に点滅します。



しばらく待つと、受信機の FUNCTION ボタンの LED が白色に点滅し、送信機のメインボタンの LED が白色に点灯します。





受信機の画面に「Pairing OK」と表示され、受信機の FUNCTION ボタンの LED が白色に点灯します。

3送信機をパソコンから外す。

- 受信機が遠隔ペアリングを実施しているときは、他の無線 LAN デバイスへの接続は動作しません。
- Web 設定画面からペアリングを行う場合、有線 LAN ケーブルもしくは「DIRECT-****」の SSID からアクセスすることを推奨します。「PressIT_****」の SSID でアクセスした状態でペアリング設 定を開始すると、一時的に SSID 接続が解除されます。
- WPS1は無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機をペアリングすることはできません。

LAN 接続について

本機はネットワーク機能を備えており、有線または無線でネットワークに接続することで、遠隔で本機 を管理することができます。

(お知らせ)

本製品は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。

■有線 LAN 接続



受信機のLAN 端子をネットワークに接続すると、受信機のIPアドレスは、初期設定では固定のIP アドレス値が割り振られています。割り当てられたIPアドレスは、待機画面に表示されています (定す 24 ページ⑥)。受信機(TY-WPR2)の管理を行う場合には、このIPアドレスを使用して接続してください。

(お知らせ)

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- 静電気を帯びた手(体)で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。 LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。

■無線 LAN 接続

受信機(TY-WPR2)の無線機能を用いて外部無線アクセスポイントやモバイル無線 LAN ルーター (5GHz または 6GHz の無線 LAN のみ)へ接続し、外部のネットワークまたはインターネットに接 続することができます。

Web 設定画面の「ネットワーク管理」で接続設定をしてください。(127 29 ページ)

(お知らせ)

本機の無線LAN接続機能を使って、ネットワークに接続して映像を表示(ミラーリング)した場合、映像が固まったりノイズが発生する可能性が高まります。外部の無線LANへの接続はファームウェアの更新などを実施する場合などに限ることを推奨します。

Android 端末での使用方法(Android 5.0 以降)

Android 端末(Android 5.0 以降に対応)の映像をディスプレイやプロジェクターにミラーリング(投 映)するには次の 2 通りの方法があります。無線 LAN やセキュリティーなどご利用環境に合わせて使 い分けることができます。

Android 端末でアプリを使用し、受信機が発信する無線LAN に接続して使用する
 Android 端末でアプリを使用し、外部の無線LAN に接続して使用する

1 | Android 端末でアプリを使用し、受信機が発信する無線 LAN に接続して使用する

こちらの方法でミラーリングする場合、Android 機器はインターネットに接続できなくなります。 端末をインターネットに接続した状態でミラーリングする場合は 2 の方法でご使用ください。

- 1 受信機と表示機器を HDMI ケーブルで接続し、受信機の電源を入れる。(☞ 14 ページ) 待機画面が表示されます。「待機画面について」(☞ 24 ページ)
- 2 Google Play ストアから専用アプリ「PressIT」を Android 端末にインストールする。 下の QR コードをスキャンしてインストールすることもできます。



3 Android 端末を、受信機が発信している無線 LAN に接続する。

無線 LAN 接続に必要な SSID およびパスワードは、待機画面の左下に表示されています。 Android 端末の無線 LAN 機能をオンにして、待機画面に表示された SSID を選択してください。 *Android 端末の設定方法については、ご使用の端末の取扱説明書をご覧ください。

4 [PressIT] アプリを起動する。

送信機と同じデザインの画像が Android 端末に表示されます。画面上の送信機のメインボタンをタップ してください。(Android OS が通知を出す場合がありますので、その通知に従って操作してください。)

- 5 ミラーリングが開始されます。
- 2 Android 端末でアプリを使用し、外部の無線 LAN に接続して使用する

- 専用アプリを起動する前に、受信機 と Android 機器が同じ無線 LAN に接続されていることを確認 してください。(☞ 27 ページ)
- 1 受信機と表示機器を HDMI ケーブルで接続し、受信機の電源を入れる。(☞ 14 ページ) 待機画面が表示されます。待機画面について (☞ 24 ページ)
- 2 Google Play ストアから専用アプリ「PressIT」を Android 端末にインストールする。 下の QR コードをスキャンしてインストールすることもできます。



3 [PressIT] アプリを起動する。

送信機と同じデザインの画像が Android 端末に表示されます。画面上の送信機のメインボタンを タップしてください。(Android OS が通知を出す場合がありますので、その通知に従って操作して ください。)

4 ミラーリングが開始されます。

■「PressIT」 アプリについて



- ①「機器の探索中」をクリックすると接続されているネットワーク 上の受信機のリスト(設定されている SSID)が表示されます。 表示したい機器に接続してください。
- ② 送信機のメインボタンと同じ動作をします。
- ③ 送信機のサブボタンと同じ動作をします。
- ④ Android アプリの情報を表示します。



左図は、接続した状態です。この場合は映像を表示しています。 アプリを終了せずにホーム画面に戻ったり、他のアプリを操作した りするとその映像がミラーリング(投映)されます。

- 著作権が保護されているコンテンツは表示できません。
- Android 端末の処理能力やネットワークの状況により、動画が滑らかに表示されない場合があります。
- ・受信機を複数接続しているネットワーク上で接続する場合は表示 する機器が複数になりますので、必ず表示する機器を間違えない ようにしてください。

受信機の Web ページに接続して本システムの設定を行います。

待機画面について

受信機の電源を入れると表示機器に待機画面が表示されます。

(お知らせ)

●受信機と表示機器の接続については「受信機の接続」(☞ 14ページ)をご覧ください。



- ① SSID を表示します。パソコンやモバイル機器から直接接続する場合に使用します。
- ② パスワードを表示します。パソコンやモバイル機器から直接接続する場合に使用します。
- ③ 送信機または受信機の無線LAN経由で接続しているモバイル機器、または外部無線LAN経由で接続しているモバイル機器との接続数を表示します。
- ④ 無線アクセスポイント / ルーターに接続した場合に表示します。
- ⑤ 受信機と送信機の接続に使用する周波数を表示します。(5GHz もしくは 6GHz)
- ⑥ 有線LANまたは外部の無線LANアクセスポイントを経由して外部ネットワーク(LAN)に接続した場合に表示します。外部ネットワークから受信機に接続するときに、このIPアドレスを使用してください。
- ⑦ 無線 LAN の受信機 IP アドレスです。無線 LAN 接続時にはこの IP アドレスを使用してください。
- ⑧ 受信機の USB 端子にマウスまたはディスプレイのタッチモジュールを接続した場合に表示します。
- ⑨ 取扱説明書ダウンロードサイトへのリンク QR コードを表示します。
- ⑩ サポート /FAQ サイトへのリンク QR コードを表示します。

- 「デバイスの管理」-「言語」で表示される言語を変更できます。(☞ 30 ページ)
- 「Wireless Display」機能が「ON」のとき、本機は SSID を 2 つ使用します。また、「Wireless Display」機能が「ON」のとき、待機画面には Wireless Display 用の "SSID (DIRECT-****)" が表示されます。

■ 購入直後初めて接続する場合

購入直後または受信機のリセットボタンを押して初期化後に、受信機の Web ページに接続した場合には、ユーザー ID とパスワードの設定が必要です。



- •パスワードは、半角8文字以上で、次の4種類の文字のうち少なくとも3種類を含むもので設定してください。
 - 大文字 (A-Z)
 - 小文字(a-z)
 - 数字(0-9)
 - 記号(~!@#\$%^&*()_+!}{][<>.,/?`)



Web 設定画面を表示する

■ ウェブブラウザーについて

 Web 設定画面は、以下のウェブブラウザーで操作することを推奨します。

 Chrome
 Ver.120.0.6099.129以降
 Firefox
 Ver.121.0.0以降

 Edge
 Ver.120.0.2210.91以降
 Safari
 Ver.17.2.1以降

■ 周囲に無線アクセスポイントがない環境で設定する場合

受信機の無線 LAN に接続し、Web 設定画面を開きます。こちらの方法でウェブ設定を操作している間、モバイル機器は一時的にインターネットに接続できなくなりますのでご注意ください。無線 LAN 接続に必要な SSID およびパスワードは、待機画面の左下に表示されています。

SSID:PressIT-A132F34D

PW:1234567890ABCDE

1 パソコンやモバイル機器の無線 LAN をオンにして、待機画面に表示されている SSID を選択する。

上記例: PressIT-A132F34D

2 無線 LAN のパスワードを入力する。

上記例:1234567890ABCDE

3 接続が完了したら、待機画面右下に表示された IP アドレスを、ウェブブラウザーのアド レスバーに入力して Enter を押す。

🗢 5GHz 🚜 192.168.0.1 I≟I 192.168.168.1

*画像の IP アドレスは一例であり、環境によって異なる場合があります。

正常に接続されると、Web 設定画面が表示されます。

パソコンからアクセスした場合の Web 設定画面

	网络教
ペアリング設定	
ネットワーク管理	
デバイスの管理	
許編設定	
基本情報	
ソフトウェアライセンス	
管理者ですでにログインしています	

スマートフォンからアクセスした場合の Web 設定画面

16:31	•11 4G 5 8
	网起版
ペアリング設定	
ネットワーク管理	
デバイスの管理	
詳細設定	
基本情報	>
ソフトウェアライセンス	
管理者ですでにログイン	しています

■ 無線 LAN アクセスポイントを自由に使える環境で設定する場合

受信機を外部の無線 LAN に接続し、Web 設定画面を開きます。受信機が発信する無線アクセスポイントとは異なる外部の無線アクセスポイントに接続し、Web 設定画面を開くことも可能です。この方法の場合、モバイル機器をネットワークに接続したまま、Web 設定画面にログインできるという利点があります。ただし、外部の無線アクセスポイントのパスワードを事前に把握していることが前提となります。パスワード等はローカルネットワークを管理しているシステム管理者にお問い合わせください。

1「周囲に無線アクセスポイントがない環境で設定する場合」(☞ 26 ページ)の手順で Web 設定画面を開いたあと、ログインし、「ネットワーク管理」を選択する。

		再起始
ペアリング設定		
ネットワーク管理		
デバイスの管理		
詳細設定		
基本情報		
ソフトウェアライセンス		
	管理者ですでにログインしています	
ত	ネットワーク管理	再起始
ি; ₊ ssiDをスキャンして	iki ya	>
Hireless Access Po	ntbže2015	0N >

2 [SSID をスキャンして接続する」をクリックする。

۲		ネットワーク管理	内起始
(i ^{,T}	SSIDをスキャンして接続する		ネットワーク ケーブルが抽転されているため、ワイヤレススキャンをオフにしー)
<u>_</u>	Wireless Access Point部定を記憶する		ON \$

*受信機にネットワークケーブルが接続されている場合は有線 LAN の接続が優先されます。

3 接続したい SSID を選択し、パスワードを入力する。

	(\mathbf{x})
SSID	
ワイヤレスパスワード	
のK 取消 削除	
"OK"をクリックするとアクセスポイントが切断され	# 7

設定(続き)

外部の無線アクセスポイント経由でインターネットに接続された状態



また、受信機が外部の無線アクセスポイントに接続されると、待機画面の左下に無線 LAN のアイコンが表示されます。



受信機に外部の無線アクセスポイントを記憶させたい場合は、「Wireless Access Point 設定を記 憶する」を「ON」にして「OK」をクリックしてください。

Wireless Access Point設定を記憶する ON		
	ок	取消
新規設定は再起動後に適用されます		

4 パソコンやモバイル機器から Web 設定画面を開くには、受信機と同じ無線アクセスポイントに接続されていることを確認し、下部に表示されている IP アドレスをウェブブラウザーのアドレスバーに入力して Enter を押す。

🗢 5GHz 🚜 192.168.0.1 🛋 192.168.168.1

正常に接続されると、Web 設定画面が表示されます。

パソコンからアクセスした Web 設定画面

	再起動
ペアリング設定	
ネットワーク管理	
デバイスの管理	
洋植改定	
基本情報	
ソフトウェアライセンス	
管理者ですでにログインしています	

Web 設定画面から各種設定を行う

Web 設定画面から「デバイスの管理」、「ネットワーク管理」、「詳細設定」等を含む設定変更ができます。

	ж -ь	調約期
ペアリング設定		
ネットワーク管理		>
デバイスの管理		>
詳細設定		>
基本情報		>
ソフトウェアライセンス		
管理者	ですでにログインしています	

■ペアリング設定

受信機のペアリングモードを起動します。 「無線 LAN 経由で遠隔から受信機と送信機をペアリングする」(☞ 20 ページ)

■ ネットワーク管理

外部の無線アクセスポイント経由で受信機を外部の無線 LAN に接続することができます。

(お知らせ)

• 有線 LAN との併用はできません。

●SSID をスキャンして接続する

×
SSID
ワイヤレスパスワード
のド取消(削除)
"OK"をクリックするとアクセスポイントが切断されます

本製品は5 GHz/6 GHz 帯域を使用している無線アクセスポイントにのみ対応しています。 モバイル機器と受信機を同一の無線アクセスポイントに接続す

るため、必要な SSID とワイヤレスパスワードを入力します。

Wireless Access Point 設定を記憶する



ー度接続した無線アクセスポイントの パスワードの接続情報を受信機に記憶 させることができます。

ON:受信機に外部無線アクセスポイントの設定を記憶します。

OFF:受信機に記憶された外部無線アクセスポイントの設定を削除します。

Wireless Access Point設定を記憶する ON	
OK 取消 新規型定は再記動後に適用されます。	

設定(続き)

■ デバイスの管理

Web 設定画面には、言語、解像度といった設定オプションがあります。 ●言語



日本語および英語に対応しています。Web 設定画面や待機 画面は選択した言語で表示されます。

●解像度

解像度	
e	•
新規設定は再起動後に適用されます	

本製品はディスプレイにとって適切な出力解像度を自動的 に検出しますが、手動で切り換えることもできます。 標準の出力解像度は 3840 x 2160 (30fps) です。最 大で 3860 x 2160 (30fps) または 4096 x 2160 (24fps) に対応しています。 なお、一般に4K と呼ばれるのは 3840 × 2160(30fps) です。 ●Android 音声ストリーミング



Android の音声を受信機に接続されている表示機器から出力する機能について指定します。
 ON: 機能を有効にします。
 OFF:機能を無効にします。

[PressIT] アプリについて



(お知らせ)

• 本機能は Android 機器の Bluetooth を使用しますので、設定メニューで Bluetooth を有効にしてください。

設定(続き)

●画面モード



映像のサイズを調整します。

オリジナル:入力信号のアスペクト比のままの映像を表示します。

全画面: 映像を画面いっぱいに表示します。

無操作時、メニューで選択した時間後に再起動を行います。

再起動指定

OFF •
8 時間
4 時間
2 時間
新規設定は再起動後に適用されます
のК 取消

●HDMI-CEC 制御



HDCP



ディスプレイまたはプロジェクターとのリンク機能を設定します。

入力切換タイミング

RX 電源 ON:

受信機の電源を入れると電源 ON や入力切換を行う機能について設定します。

- ON: 機能を有効にします。
- **OFF**:機能を無効にします。

TX 接続:

送信機の電源を入れると電源 ON や入力切換を行う機能について設定します。

- ON: 機能を有効にします。
- OFF:機能を無効にします。

本機の HDCP 対応を切り換えます。HDCP 付信号を入力 する場合は「ON」にしてください。

■ 詳細設定

この設定機能は主に情報システム部門の担当者、ネットワーク管理者向けに設計されており、より詳細な設定変更を行うことができます。

●Wireless チャンネル

Wireless チャンネルを設定します。本製品には以下のオプションがあります。

5G	6G	
チャンネ	NI	
	Auto	•
帯域幅		
	20MHz	•
	ОК 取消	

 5G/6G:
 5G/6G を変更します。

 チャンネル:
 Wireless チャンネルの設定を変更します。

 帯域幅:
 Wireless 信号の帯域幅を設定します。

(お知らせ)

受信機が外部の無線アクセスポイントに接続されているときは、Wireless チャンネルの設定ができませんのでご注意ください。

信号の強さ

強度を設定します。

複数台の送信機・受信機が近接して設置されている場合などに発生する電波の干渉を抑える場合に設 定します。

①「詳細設定」画面で「信号の強さ」を選択する。



受信機と接続中の送信機一覧が表示されます。 設定を行う機器を選択します。 受信機とすべての送信機を同じ設定に変更する場合は、 「All(RX+TX)」を選択してください。

2 強度を設定する。

_		_
高		
中		0
低		0
	ОК 取消	

- 高:無線の強度を最大に設定する場合に選択してください。
- 中: 強度を 70% に設定します。
- 低: 強度を 40% に設定します。

設定(続き)

③再起動を設定する。



設定変更の後に変更対象の機器を再起動するかどうかを設 定します。

連続して複数の機器の設定を変更する場合は、「取消」を選択してください。

(お知らせ)

- 再起動の対象は、直前に設定を変更した機器だけです
- 「取消」を選択して複数の機器の設定を変更した場合は、手動で 電源を入れ直してください。

●LAN IP 設定

IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスク、DNS サーバーなどを含むネットワークの手動設定ができます。

自動	OFF
IPアドレス	192.168.0.8
ゲートウェイ	192.168.0.1
ネットマスク	255.255.255.0
DNS1	8.8.8.8
DNS2	8.8.4.4
	<mark>рк</mark> 取消

購入直後または受信機のリセットボタンを押して初期化後は、下記 の設定となっています。 自動: OFF IPアドレス: 192.168.0.8 ゲートウェイ: 192.168.0.1 ネットマスク: 255.255.255.0 DNS1: 192.168.0.1 DNS2: (空欄)

SSID

SSID 名の変更、SSID の非表示、SSID の無効化ができます。



SSID を隠す:

「ON」にすることで待機画面に表示される SSID を非表示にします。 * 設定前に必ずメモをとっておいてください。

SSID をオフにする:

「ON」にすることで受信機の SSID 機能を無効にします。 送信機と受信機で通信ができなくなります。ペアリングを行っても 通信ができません。

- [Wireless Display] 機能が「ON」のとき、本機は SSID を 2 つ使用します。
- 受信機と送信機の無線接続に使用される SSID 名称は、本機能で設定される名称になります。
- 「Wireless Display」機能に使用される SSID の名称は、本機能の SSID の名称の頭に "DIRECT-" が付いた "DIRECT-**** (SSID 名)" という名 称になります。

●ワイヤレスパスワード

受信機の無線 LAN 接続パスワードを変更します。管理者はセキュリティー強化のために、待機画面 で無線 LAN パスワードを非表示にすることができます。

設定できる文字種:英数記号文字(0~9、a~z、A~Z、^{*}!@#\$%^&*()_+¦}][<>.,/?`) 設定できる文字数:8~15文字

(お知らせ)

•パスワードを変更すると再度ペアリングを行う必要があります。

ワイヤレスパスワード	•••••
パスワードを隠す	OFF
ок	取消

マイスクリーン

任意の画像をアップロードすることで、待機画面の背景を変更することができます。画像の大きさは 1920 x 1080 の PNG 形式で、2MB 以下である必要があります。

(お知らせ)

 ・一度背景を変更すると、元の画像に戻すには製品を初期化する必要がありますのでご注意ください。
 (127 41 ページ「デフォルトにリセット」)



Wireless Display

Wireless Display 機能を使用して、Miracast 対応のモバイル端末の画面および音声を受信機にミラーリングできます。



Wireless Display

ON: 機能を有効にします。 **OFF**:機能を無効にします。 「Wireless Display」が「ON」の時は、"DIRECT-****(現在の SSID) " というもうひとつの無線ネットワークが動作します。

PIN

ON: 機能を有効にします。

OFF:機能を無効にします。

- 「Wireless Display」機能が「ON」のとき、本機は SSID を 2 つ使用します。
- 「Wireless Display」機能に使用される SSID の名称は、受信機と送信 機の無線接続に使用される SSID の名称の頭に "DIRECT-" が付いた "DIRECT-****(SSID 名)" という名称になります。

設定(続き

PIN 機能

本機能を有効にした場合、使用するモバイル端末によっては、接続時に PIN の入力を求められることがあります。その場合は、画面の下部に表示されている数字 8 桁の PIN を入力してください。

「Wireless Display」が「ON」の場合の待機画面



① モバイル端末から、ここに記載の SSID を選択してください。

② PIN 表示

(お知らせ)

- Wireless Display 機能は、モバイル端末が Miracast をサポートしている場合にのみ使用できます。
 接続で問題が発生した場合は、使用しているオペレーティングシステムが Miracast をサポートしているかどうか を確認してください。
 - モバイル端末の操作方法については、お使いの端末の取扱説明書などをご覧ください。
- •「マルチキャスト」が「ON」の場合は Wireless Display 機能が使用できないため、「Wireless Display」を「ON」にできません。
- 送信機による固定モード中は Wireless Display 機能は実行できません。
- •「Wireless Display」が「ON」の場合、次のメニューは変更不可になります。
 - SSID を隠す /SSID をオフにする 設定は強制的に「OFF」になります。
 パスワード

Administrator パスワード

管理者のパスワードを変更できます。セキュリティーを強化するために、管理者パスワードは定期的 に変更することをお勧めします。

設定できる文字種:英数記号文字(0~9、a~z、A~Z、^{*}!@#\$%^&*()_+|||][<>.,/?`) 設定できる文字数:8~16文字

Administrator パスワード
ראלין איז
Administrator (70,7 — F) User Neme BYCC3 — P
)(スクード等面入)) なま

●スクリーンセーバー

スクリーンセーバーとは、待機画面が表示されたら指定時間後に信号出力を停止する機能です。ここ でその指定時間を設定できます。

接続された送信機のメインボタンを押して映像提示動作をすると、信号出力の停止は解除されます。 (お知らせ)

• 本機能による信号出力停止中は、受信機に接続している HDMI ケーブルの抜き挿しをしても停止を 解除できません。

	_
OFF	
5秒	
1分	•
5分	0
15 分	
30 分	0
1時間	
ок 取消	

WPA/WPA2-Enterprise

この機能を使用すると、暗号化通信に対応した電子証明書鍵ファイルをアップロードすることができます。この機能は情報システム部門の担当者、ネットワーク管理者向けに設計されています。

デジタル最明書のアップロード
WPA2 EAP-MSCHAP用アップロード: CA.pem
WPA2 EAP-TLS用アップロード: 3 pem files
CA.pem
ファイルの進択 ファイルが選択されていません
Certificate.pem
ファイルの道訳 ファイルが選択されていません
Privatekey.pem
ファイルの選択ファイルが選択されていません
ОК

(お知らせ)

• WPA3-Enterprise は非対応となります。

設定(続き)

●マルチキャスト

1 台の送信機から複数の受信機に映像および音声をミラーリングする機能です。

- マルチキャスト機能を使用するには、2種類の設定方法があります。
- ① ルーターを使用する方法

5 GHz 帯域 W52 チャンネルに固定できる無線 LAN ルーター、もしくは 6 GHz 帯域に対応した無線 LAN ルーターが必要です。

② ルーターを使用しない方法(ルーターレスマルチキャスト)

事前設定1(受信機の設定)

マルチキャストする受信機すべてで設定が必要です。

1-1 ルーターを使用したマルチキャストの場合

受信機をルーターに接続する。

Web 設定メニューの「ネットワーク管理」で、「Wireless Access Point 設定を記憶する」を 「ON」にし、「SSID をスキャンして接続する」でルーターとの接続設定をする。 受信機とルーターを有線 LAN で接続する場合、この設定は不要です。

ルーターを使用しないマルチキャスト(ルーターレスマルチキャスト)の場合

Web 設定メニューの「詳細設定」から「マルチキャスト」を選択する。 1 台の受信機のみ「Host」を「ON」に設定し、残りの受信機は「Host」を「OFF」に設定する。 マルチキャストメニュー設定で「デバイス名」と「ワイヤレスパスワード」を設定するときに、 Host 以外の受信機は、Host の受信機の SSID とワイヤレスパスワードを入力する。 (Host の受信機の SSID とワイヤレスパスワードは、Host となる受信機の待機画面を確認して ください)

1-2 マルチキャストメニュー設定

Web 設定メニューの「詳細設定」から「マルチキャスト」を選択する。



マルチキャスト

ON: 機能を有効にします。 **OFF**:機能を無効にします。

キャストグループ

キャストグループ名を設定します(英数字16文字以内)。 同じキャストグループに設定した受信機に対し、マルチキャストが可能です。

セキュリティー

ルーターのセキュリティー設定を選択します。 マルチキャスト機能に対応しているものが表示されています。 マルチキャストは WPA/WPA2-Enterprise に対応していません。

デバイス名

ルーターの SSID を入力します。

ワイヤレスパスワード

ルーターの接続パスワードを入力します。

Host

ON: 受信機の Host となります

OFF:機能を無効にします。

設定変更後、再起動するか電源切 / 入を実行してください

事前設定 2(ペアリング) 使用する送信機と、「事前設定 1」を済ませた受信機の内 1 台とペアリングする。

事前設定完了後の待機画面



① GroupID (上で設定したキャストグループ) が下部に表示されます。

② マルチ画面モードが非対応となるため、操作ガイドの表示が変わります。

(お知らせ)

- マルチキャスト設定を変更した場合は、送信機の再ペアリングが必要です。
- ネットワーク接続状況によってマルチキャスト動画に遅延等が生じる場合があります。遅延が気になる場合は、 受信機とルーターの有線 LAN 接続をお試しください。
- 「Wireless Display」が「ON」の場合はマルチキャスト機能を使用できないため、「マルチキャスト」を「ON」 に設定できません。
- •「マルチキャスト」が「ON」の場合、次の機能は非対応になります。
 - ・マルチ画面モード
 - HID 機器による操作
 - · Android/iOS 用 PressIT アプリからのミラーリング
- ルーターと受信機の通信が一定時間できない場合、「マルチキャスト」が強制的に「OFF」になりますのでご注意ください。
 - ルーターと受信機の通信ができない場合、下図のように待機画面中央にメッセージが表示されます。

Failed to connect to router. Reboot to normal operation in 293 seconds.

メッセージ表示中にルーターと受信機の通信が再開できなかった場合、「マルチキャスト」は強制的に「OFF」となり、受信機は再起動します。

(再開できた場合は、マルチキャスト設定は維持されます。)

設定(続き)

●背景色設定

待機画面、無信号映像の背景色を指定します。 「黒色」または「青色」に指定できます。

(お知らせ)

• マイスクリーンを指定すると、本設定は待機画面に反映されません。



●日付 / 時間 設定

タイムゾーン	
GMT	•
Time Server	
ОК 取消	

タイムゾーンを指定します。

Time Server :

NTP サーバーを設定します。 NTP サーバーを指定しない場合は、あらかじめ登録されているサー バーにアクセスします。

日時は、以下の情報を表示します。

- 1.受信機の無線 LAN または有線 LAN 経由で NTP サーバーからの 取得した情報(優先)
- 2.対応ディスプレイまたはプロジェクターの HDMI-CEC からの情報

●HTTPS 設定



Web 設定画面へのアクセス方法について設定します。

HTTP :

http/https どちらの URL からでもアクセスできます。

HTTPS :

http でアクセスした場合、https ヘリダイレクトするようになります。 (http アクセスを無効にします)

(お知らせ)

 本機能を「HTTPS」設定にした場合、WPS1送信機のペアリン グ機能が動作しません。

●再起動



ファームウェアを最新バージョンにアップグレードした時や、受信 機が応答していない場合には、本製品を再起動します。 「再起動」をタップして「はい」を選択してください。

デフォルトにリセット



本製品を出荷時の状態に初期化します。使用言語設定、解像度、一度記憶させた無線 LAN などのカスタム設定が初期化されますのでご注意ください。

送信機を初期化すると受信機と送信機のペアリングが解除されます。 初期化後に「送信機の増設方法(ペアリング)」(27 19ページ)の 手順でペアリングを行ってください。

「デフォルトにリセット」で初期化しても、Administratorパ スワード(ユーザー名 / パスワード)は初期化されません。 Administrator パスワードを初期化したいときは、リセットボタン (☞ 11 ページ)を使用してください。

RX をリセットする:
 受信機のみを初期化します。
 TX をリセットする:
 送信機のみを初期化します。
 受信機とペアリング済みで、起動中の送信機が初期化の対象です。
 RX + TX をリセットする:
 受信機と送信機の両方を初期化します。

■ 基本情報

「SSID」、「ファームウェアバージョン」、「Wireless チャンネル」など、本製品に関する基本情報を 表示します。送信機接続時には、送信機の基本情報も表示されます。



■ ソフトウェアライセンス

ソフトウェアライセンスの文章を記載したファイルをダウンロードします。

設定(続き

「初期設定」メニュー(ディスプレイ設定)

本製品を対応ディスプレイに接続して、ディスプレイの「初期設定」メニューを設定すると、以下の機 能をご利用になれます。

ここではディスプレイ SQ1 シリーズでの各種設定を説明しています。その他の機種の設定については パナソニックの情報サイトをご覧ください。

■ 信号モード

「信号モード」サブメニュー画面(例)

HDMI 選択時

信号モード		
YUV/RGB 切換	YUV	Þ
デジタルシネマリアリティー	オフ	
ノイズリダクション		
MPEG ノイズリダクション		
信号レンジ	フル (0-255)	
フレームクリエーション		
ダイナミックバックライト		
EDID 選択	4K/60p	
	67.50 kHz	
	30.00 Hz	
ドットクロック周波数	297.00 MHz	
	3840x2160/30p	
HDCP ステータス		

●EDID 選択

HDMI 端子の EDID のデータを切り換えます。

- 4K/60p/SDR: 4K 映像信号(最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz)に対応した EDID にします。 SDR (Standard Dynamic Range) に対応した EDID です。HDR (High Dynamic Range) には対応していません。
- **4K/60p/HDR**: 4K 映像信号(最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz)に対応した EDID にします。 HDR (High Dynamic Range) に対応した EDID です。

 4K/30p:
 4K 映像信号(最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 30Hz)に対応した EDID にします。

2K: 2K 映像信号(最大1920x1200ドット)に対応した EDID にします。

- 本機能はパナソニック製ディスプレイ SQ1 シリーズを例として説明しています。機種により設定する項目は異なります。
- •「4K/60p/SDR」または「4K/60p/HDR」に設定した場合、4K/30pの映像を出力します。
- 設定を変更すると、10 秒程度映像が消えた後に指定の映像フォーマットが出力されます。
- Web 設定画面の「解像度」を「自動」以外に設定している場合、本メニューの設定は反映されません。
- 「ワイヤレスプレゼンテーション連携」が「オフ」の場合、本メニューを変更した後に受信機を再起動するまで設定は反映されません。

入力信号表示(受信ボード入力選択時)

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

	33.72	
	60.00	
ドットクロック周波数	74.18	MHz
	1080/60	Di
HDCP ステータス	無し	

受信ボードの入力(SLOT)を選択している場合は、以下の情報を表示します。

- 送信機の映像を表示しているときは送信機に入力されている映像信号の情報が表示されます。
- 送信機の映像を表示していない場合(待機画面を表示中)は、受信ボードから出力している信号の情報が表示されます。

パナソニック製ディスプレイとの連携機能

本機に対応したパナソニック製ディスプレイと受信機をHDMIケーブルで接続し、両方の電源をオン するだけで、連携した動作が可能です。(「ワイヤレスプレゼンテーション連携」を「オン」に設定する 必要があります。)

次の各設定メニューで連携機能の詳細を設定します。

■ 起動設定

電源「入」時の各種設定を行います。

「起動設定」サブメニュー画面

起動設定		
スタート入力設定	< オフ	
電源復帰モード	ラストメモリー	
スタート音量設定機能		
スタート音量設定	0	1
起動遅延制御		
お知らせ(無操作自動オフ)		
お知らせ(パワーマネージメント)		
クイック起動		

●クイック起動

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

オフ:電源「入」時に通常通り電源オンします。

オン:電源「入」時に素早く電源オンします。

- •本設定が「オン」の場合、スタンバイ時の消費電力が高くなります。
- •本設定が「オン」のとき、スタンバイ状態では電源ランプは橙(赤 / 緑)色に点灯します。
- ディスプレイの USB 端子より受信機の給電を行う場合は、「オン」に設定してください。

設定(続き

■ 外部機器連携設定

外部接続機器との連携について設定します。

外部機器連携設定			
接続機器情報表示		オフ	
ワイヤレスプレゼンテーション連携	•	オン	Þ

●接続機器情報表示

HDMI 端子に接続されている機器情報の表示 / 非表示を設定します。

オフ:接続機器情報が表示されません。

オン:以下のように、接続機器情報が表示されます。



(お知らせ)

- 信号の情報または HDMI-CEC の情報のうち取得できた内容を表示します。
- 取得できた先頭の 16 文字までを表示します。

●ワイヤレスプレゼンテーション連携

本製品とディスプレイとの連携について設定します。

オフ:本製品と連携しません。

オン:本製品と連携します。

- HDMI 端子に受信機が接続されている場合に連携機能が働きます。
- 以下の機能が固定されます。
 本機能を「オン」から「オフ」に切り換えても、これらの設定は保持されます。また、各設定メニューで変更することは可能です。
- •「映像メニュー」が「グラフィック」に固定されます。
- 「HDMI-CEC 制御」が「有効」、「ディスプレイ → 機器」が「電源オフ / オン」、「機器 → ディスプレイ」が 「電源オフ / オン」に固定されます。
- 「クイック起動」が「オン」に固定されます。
- •「オフ」に設定した場合でも、HDMI-CEC 機能は動作します。

■ ワイヤレスプレゼンテーション設定

(お知らせ)

メニューの設定が反映されるまでに5秒程度かかる場合があります。
 「ワイヤレスプレゼンテーション設定」サブメニュー画面

ワイヤレスプレゼンテーション設定				
背景色設定	< 黒			
日時表示設定	Y/M/D			
言語連動	有効			

●背景色設定

黒: 待機画面、無信号映像の背景色を黒にします。

青: 待機画面、無信号映像の背景色を青にします。

(お知らせ)

•Web設定画面の「マイスクリーン」機能で映像を変更した場合、本設定は反映されません。

●日時表示設定

(お知らせ)

• 本モデルでは動作しません。待機画面に日時を表示しません。

●言語連動

- 有効: 待機画面、無信号映像、Web 設定画面をディスプレイの「表示言語切換」で設定した言語にします。
- 無効: 待機画面、無信号映像、Web 設定画面を Web 設定画面の「言語」で設定した言語にします。

(お知らせ)

• 言語連動は、本モデルでは日本語と英語のみに対応します

設定(続き)

■ HDMI-CEC 設定

HDMI-CEC 機能について設定します。 HDMI-CEC 機能について詳しくは「HDMI-CEC 機能を使う」(125-47 ページ)をご覧ください。

「HDMI-CEC 設定」	サブメニュー画面
---------------	----------

HDMI-CEC 設定				
HDMI-CEC 制御	•	有効	Þ	
HDMI1	-			
HDMI2				
SLOT				
HDMI-CEC 拶	作			
MENU 🗆 –		1		
連動機能				
ディスプレイ →	機器	無効		
機器 → ディスフ	ピレイ	無効		

●HDMI-CEC 制御

HDMI-CEC 機能の有効 / 無効を設定します。

- **無効:** HDMI-CEC 制御を無効にします。
- **有効:** HDMI-CEC 制御を有効にします。

(お知らせ)

•「有効」に設定することで、本機とディスプレイの HDMI-CEC 機能が有効になります。

HDMI1 / HDMI2

本機が接続されている端子には「PressIT」と表示されます。

●MENU コード

本システムには割り当てるコードはありません。

●ディスプレイ → 機器

ディスプレイから HDMI-CEC 対応機器への連動制御の有効 / 無効を設定します。

- 無効: ディスプレイから機器への連動制御を無効にします。 ディスプレイの電源状態の変化で機器の電源状態は変化しません。
- **電源オフ:** ディスプレイの電源オフ(スタンバイ)により、HDMI 1 または HDMI 2 端子に 接続されているすべての機器を電源オフ(スタンバイ)にします。電源オン動作 には連動しません。
- **電源オフ / オン**:ディスプレイの電源オフ(スタンバイ)/ オン動作に機器が連動してオフ(スタン バイ)/ オンになります。

●機器 → ディスプレイ

HDMI-CEC 対応機器からディスプレイへの連動制御の有効 / 無効を設定します。

- 無効: 機器からディスプレイへの連動制御を無効にします。 機器の電源状態の変化でディスプレイの電源状態は変化しません。
- **電源オン:** 機器の電源オンでディスプレイの電源をオンし、その機器の入力(HDMI1/ HDMI2)に切り換えます。
- 電源オフ / オン:機器の電源オフ / オンにディスプレイの電源が連動します。

HDMI-CEC 機能を使う

HDMI-CEC 機能は、本機の操作に連動してディスプレイの電源を切 / 入したり入力を切り換える機能です。

■ CEC-ON 連動

ディスプレイが電源オフ(スタンバイ状態)の場合は、電源オン(受像状態)にします。本機が接続されている入力に切り換えて本機の映像を投映します。

次の4通りの操作を行うことで ON 連動します。

(1) 受信機の電源投入時

受信機の電源をオフからオンにしたとき、ディスプレイの電源がオンになり、受信機が接続されている入力に切り換わります。



(2)送信機の電源投入時

送信機の USB 端子をパソコンなどに接続して給電が始まると、ディスプレイの電源がオンになり、 受信機が接続されている入力に切り換わります。



設定(続き)

(3) 待機状態に送信機の映像を表示したとき

送信機が待機状態にあるとき、メインボタンを押して映像を受信機に送信すると、ディスプレイ の電源がオンになり、映像が表示されます。

ディスプレイの入力は送信機の操作に連動して受信機が接続されている入力に切り換わります。 例:ディスプレイが PC 入力のとき



映像を表示

(4) マルチ画面モード時

マルチ画面モード時にメインボタンを押して映像を追加すると、ディスプレイの電源がオンになり、マルチ画面表示になります。

ディスプレイ電源オフ(スタンバイ)

マルチ画面表示



■ CEC-OFF 連動

次の2通りの操作を行うことでディスプレイを電源オフ(スタンバイ状態)にします。

(1) スクリーンセーバー起動時

送信機が待機状態にあるとき、本機のスクリーンセーバーが起動するとディスプレイの電源がオ フになります。



(2) 送信機の待機動作時

送信機を接続している状態で、送信機のメインボタンとサブボタンを同時に長押しするとディス プレイの電源がオフになります。

送信機が待機状態になると、メイン LED は赤色点滅になります。

映像表示中または待機画面

ディスプレイ電源オフ(スタンバイ)



(お知らせ)

• 送信機を待機状態から復帰させる場合は、送信機の USB 端子を抜き差ししてください。

ファームウェアのアップデート

受信機のファームウェアのアップデート

受信機のファームウェアのアップデートをするには USB メモリーを使用します。

■ 準備物

- ●USB メモリー
- ●ファームウェアファイル

最新のファームウェアファイルは、商品 Web サイトに公開されています https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays

- ファームウェア更新手順
- 1 商品 Web サイトから、最新のファームウェアファイルをダウンロードする。
- 2 USB メモリーのトップディレクトリにファームウェアファイルを保存する。
- 3 受信機を起動する。
- 4 受信機に USB メモリーを接続する。
 - ・受信機の待機画面に「Start download FW from USB」の画面が表示され、受信機の FUNCTION ボタンの LED が赤白点滅します。



• 受信機が自動で再起動し、「Start Installing...」の画面が表示されます。



- •受信機の画面の進捗率が100%になると、受信機が再起動します。
- 再起動後しばらく(10秒ほど)すると、再度、受信機が再起動します。

5 ファームウェアのバージョンを確認する。 バージョンが変わっていれば、アップデート成功です。

■ 受信機のファームウェアバージョンの確認方法

1 受信機を起動する。

2 待機画面で受信機の FUNCTION ボタンを押す。

機器の情報が表示されます。

Rx Fw Version: 1.18563.363 Tx Fw Version: Temp Wifi Channel: 6G HDCP Status: ON Network Connection: High

3 [Rx Fw Version] の欄を確認する。

(お知らせ)

• 受信機のファームウェアのバージョンは、Web 設定画面の「基本情報」からも確認できます。

(お知らせ)

- すでに受信機のバージョンが、ファームウェアファイルのバージョンよりも新しいか同じ場合は、 アップデートは開始されません。
- 「Start download FW from USB」の画面が表示中(FUNCTION ボタンの LED が赤白点滅中) は、USB メモリーを受信機から抜かないでください。
- ・受信機のファームウェアアップデートに途中で失敗した場合、またはアップデートがいつまでも終わらない場合(目安として15分以上進まない場合)は、受信機の電源を切/入してください。
- ファームウェアのアップデート中は、別の送信機から映像を送ったり、別のデバイスを受信機の USB 端子に接続したりなどしないでください。

送信機のファームウェアアップデート

送信機のファームウェアアップデートは受信機を経由して実施します。 かならず受信機のファームウェアを最新にアップデートしてから、送信機のファームウェアアップデー トを実施してください。

■ ファームウェア更新手順

次のいずれかの方法でアップデートを実施してください。 ●受信機に直接接続してアップデート

- 1 受信機を起動し、待機画面の状態にする
- 2 ファームウェアをアップデートしたい送信機のサブボタンを押した状態で、受信機の USB 端子に接続する

受信機の待機画面に「Pairing…」が表示されますが、送信機のサブボタンを押したままにしてください。

3 そのままサブボタンを押した状態にする。

送信機のメイン LED が紫色に点滅し、受信機の画面に「Tranmitter upgrading...」が表示されます。

4 サブボタンを押すのを止める。

進捗率が 100 % となり、「Transmitter update complete」が表示されると、アップデート成 功です。

- ●遠隔でアップデート
- 1 最新のバージョンにアップデートした受信機と、ファームウェアをアップデートしたい 送信機をペアリングする。
- 2 ファームウェアアップデートしたい送信機を、サブボタンを押した状態で、パソコンと 接続する。
- 3 そのままサブボタンを押した状態にする。

送信機のメイン LED が紫色に点滅し、受信機の画面に「Tranmitter upgrading...」が表示されます。

4 サブボタンを押すのを止める。

進捗率が 100% となり、「Transmitter update complete」が表示されると、アップデート成功 です。



送信機のファームウェアバージョンの確認方法

- 1 バージョンを確認したい送信機を、受信機とペアリングします。
- 2 送信機をパソコンと接続し、起動した状態のままにする。
- 3 受信機の Web 設定画面へアクセスする。

Web 設定画面の「基本情報」から、ペアリングしている送信機のファームウェアバージョンが確認 できます。

- 送信機のファームウェアのアップデートは、送信機のバージョンにかかわらず、必ず行われます。
- 送信機のファームウェアのアップデート中は、送信機を接続している受信機やパソコンから抜かない でください。
- 送信機のファームウェアアップデートに途中で失敗した場合、またはアップデートがいつまでも終わらない場合(目安として15分以上進まない場合)、送信機を接続している受信機やパソコンから抜き差しして、再度ファームウェアアップデートを試してください。
- ファームウェアのアップデート中は、別の送信機から映像を送ったり、別のデバイスを受信機の USB 端子に接続したりなどしないでください。

受信機の設置方法

受信機取付金具の構成部品

以下の部品が入っていることを確認してください。

ベース金具(A)…1 (DPVF3503ZA/X1)



シート (B) …2 (DPVF3508ZA/X1) (24 × 20 mm)



ねじ (C) …4 (DPVF3510ZA/X1) (M4 × 5)

ベース金具の取り付け

- 1 受信機底面のねじ穴4ヵ所に合わせてベース金具(A)を置く。
- 2 ベース金具(A)をねじ(C)4本で固定する。



ベース金具は下図のように取り付けてください。



天井や壁面への取り付け

- 1 ベース金具(A)を受信機に取り付ける。
- 2 ねじ2本で受信機を天井や壁面に固定する。

取り付ける天井や壁面の状態によって、適切な種類や長さのねじ(市販品)を使用してください。 (推奨サイズ:M4)



プロジェクターへの取り付け例

固定用のバンドは幅 25 mm 以下の市販品をご用意ください。

1 ベース金具(A)を受信機に取り付ける。

2 シート(B)2枚をケガキ線に合わせて金具に貼り付ける。

シートは両面テープの剥離紙を剥がして金具に貼り付けた後、保護フィルムを剥がしてください。 £

"B-2



3 ベース金具(A)のスリットにバンドを通す。



4 プロジェクターの天吊りベース金具上に受信機を設置する。



5 バンドを天吊りベース金具にくぐらせるように巻き付けて受信機を固定する。



(お知らせ)

イラストは PT-VMZ60 です。

• プロジェクターの機種によっては、上記の方法で取り付けできない場合があります。

■ 受信機の映像出力解像度

WPS 受信機(TY-WPR2)				
HDMI出力信号種				
3840 x 2160@30Hz RGB	3840 x 2160@24Hz			
1920 x 1080@60Hz RGB	1920 x 1080@60Hz			
4096 x 2160@24Hz	1920 x 1080@50Hz			
3840 x 2160@60Hz	1920 x 1080@24Hz			
3840 x 2160@30Hz	1280 x 720@60Hz			
3840 x 2160@25Hz	1280 x 720@50Hz			

■送信機の映像入力解像度

WPS 送信機(TY-WPB2)	WPS USB-C 送信機(TY-WPBC2)
HDMI 入力対応信号種	USB-C 入力対応信号種
3840 x 2160@30Hz	3840 x 2160@30Hz
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080@60Hz
1920 x 1080@50Hz	1920 x 1080@50Hz
1920 x 1080@30Hz	1920 x 1080@30Hz
1280 x 720@60Hz	1280 x 720@60Hz
1280 x 720@50Hz	1280 x 720@50Hz

修理を依頼される前に… (もうー度次の点をお調べください)

こんなとき	ここをお調べください	参照 ページ
タッチモジュールの USB ケーブルを 受信機に接続してもパソコンにタッチ 情報が伝達されない	●タッチモジュールに対応していない機器があります。	11
Web 設定画面のユーザー名・パス ワードを忘れてしまった	●受信機を起動した後にリセットボタンを5秒以上 押してください。ユーザー名とパスワードが初期 化されます。	11
送信機のメイン LED・サブ LED が正 常に点灯しない	●送信機に供給される電力が不足している可能性が あります。送信機への給電元を変更してください。	15
HDMI-CEC 機能が動作しない	ディスプレイやプロジェクター本体の USB 端子 から受信機に電源供給する場合は、電源オフ時に 電力が不足する場合があります。受信機への給電 元を変更してください。	14
送信機をパソコンに接続した際にパソ コンの映像が乱れる	●送信機の対応信号情報をパソコンが判断して映像を最適な解像度に変更している際に発生する現象ですが、故障ではありません	_
パソコンなどの映像を送信中にパソコ ン映像の解像度を変更すると、映像が 乱れたり、無信号映像が表示される。	●パソコンからの信号が変化した際に発生する現象 ですが、故障ではありません。	_

保証とアフターサービス(ょくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず 電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

| 技術料| は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

| 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

|出張料|は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。 よくお読みのあと、保存してください。

補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。 注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号 製品名・品番・お買い上げ日 故障または異常の内容 訪問ご希望日

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。
 ■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。
 パナソニック業務用ディスブレイサポートセンター
 電話 ジャャル の120-872-002 *##電話からもご利用いただけます。
 ホームページからのお問い合わせは
 ホームページからのお問い合わせは
 ホtps://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/
 ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグルーブ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理 対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせ ていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理 業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報 に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

■ 受信機

品番	TY-WPR2		
製品名	WPS 受信機		
映像出力	HDMI × 1 (HDCP2.2)		
出力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/60p(最大)		
同時接続数	32		
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11b/g/a/n/ac/ax Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)		
データレートワイヤレス	2.4 Gbps(最大理論値)		
周波数帯域	2.4 GHz 帯 2.400 MHz ~ 2.483.5 MHz 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13 チャンネル 5 GHz 帯 5.150 MHz ~ 5.250 MHz 36/40/44/48 チャンネル 6 GHz 帯 5.945 MHz ~ 6.425 MHz 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/61/65/69/73/77/ 81/85/89/93 チャンネル		
セキュリティー	WPA/WPA2/WPA3(WPA3-Enterpriseは非対応)		
到達距離	5 GHz: 最大 30 m、6 GHz: 最大 20 m (見通しの良い電波条件の良いところ)		
FUNCTION LED	*代表的な色と状態について以下に記載しています。		
白色点滅	ペアリング中		
白色点灯	ペアリング完了		
赤白点滅	受信機のファームウェアアップデート		
LAN 端子	RJ45 × 1 10BASE-T/100BASE-TX 対応		
USB 端子	USB レセプタクル Type-A × 2		
音声出力端子	ステレオミニジャック(φ 3.5 mm)× 1 0.25 V [rms]		
電源	DC 5 V/2 A		
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	156 mm × 26 mm × 97.5 mm(アンテナを含まない)		
質量	約 270 g		
動作使用条件	温度:0 ℃~ 35 ℃ 湿度:20 % ~ 80 %(結露のないこと)		
保管条件	温度:-20 ℃~ 60 ℃ 湿度:20 % ~ 80 %(結露のないこと)		

■ 送信機

品番	TY-WPB2	TY-WPBC2	
製品名	WPS 送信機	WPS USB-C 送信機	
映像入力	HDMI × 1 (HDCP1.4)	USB Type-C × 1 (HDCP1.4、DisplayPort Alt Mode)	
入力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/30	Dp(最大)	
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11ac/ax Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)		
データレートワイヤレス	1.2 Gbps (最大)		
周波数帯域	5 GHz 帯 5,150 MHz ~ 5,250 MHz 36/40/44/48 チャンネル 6 GHz 帯 5,945 MHz ~ 6,425 MHz 1/5/9/13/17/21/25/29/33/37/41/45/49/53/57/61/65/69/73/77/ 81/85/89/93 チャンネル		
セキュリティー	WPA2/WPA3 (WPA3-Enterprise は非対応)		
到達距離	5 GHz:最大30 m、6 GHz:最大20 m (見通しの良い電波条件の良いところ)		
メインLED	*代表的な色と状態について以下に記載しています。		
白色点滅	待機中(入力信号なし)、ペアリング中		
白色点灯	待機中、ペアリング完了		
赤色点滅	接続中		
赤色点灯	操作不可		
緑色点滅	映像表示中(入力信号なし)		
緑色点灯	映像表示中		
青色点滅	固定モード中(入力信号なし)		
青色点灯	固定モード中		
黄色点滅	無線 LAN 経由ペアリング中		
紫色点滅	送信機のファームウェアアップデート		
サブ LED			
緑色点灯	マルチ画面モード中		
電源	DC 5 V/0.9 A		
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	61.3 mm × 19.8 mm × 87.3 mm (ケーブルを含まない) 61.3 mm × 19.8 mm × 297.3 mm (ケーブルを含む)	61.3 mm × 19.8 mm × 87.3 mm (ケーブルを含まない) 61.3 mm × 19.8 mm × 192.3 mm (ケーブルを含む)	
質量	約 130 g	約100g	
動作使用条件	温度:0 ℃~ 35 ℃ 湿度:20 % ~ 80 %(結露のないこと)		
保管条件	温度:-20 ℃~ 60 ℃ 湿度:20 % ~ 80 %(結露のないこと)		

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社 (パナソニック コネクト) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクトにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされた ソフトウェア
- (4) GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセ ンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセ ンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソース ソフトウェア

上記 (3) ~ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、 一切の保証はなされません。詳細は、本製品の Web 設定画面からの所定の操作によって[ソフト ウェアライセンス]の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック コネクトは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡い ただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開 示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り 可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口:oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の 国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標または登録商標です。
- PressIT はパナソニック ホールディングス株式会社の商標です。
- Bluetooth およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、パナソニック コネクト株式会社 はライセンスに基づき使用しています。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Safari は、米国および他の国々で登録された Apple LLC の商標です。
- Chrome、Android は、Google Inc. の登録商標です。
- Firefox は、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の登録商標です。
- Miracast™は、Wi-Fi Allianceの商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内のみ有効です。 製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法 をお問い合わせください。

